

# 人が入れるシャボン玉のつくり方

## <注意事項>

体育館やステージなど、屋内で遊ぶ場合は床にブルーシートなどを敷きましょう。シャボン液で濡れた床は滑りますので、十分に注意してください。

屋外で遊ぶ場合、風やホコリの影響を受けるとシャボン玉が割れてしまいますので、風除けなどの対策を行ってください。

シャボン液で濡れることがありますので、濡れてもいい服装で遊びましょう。シャボン液が顔など皮膚に直接ついた場合はきれいな水で洗ってください。目に入った場合、大量の水で洗い流してください。

## <遊び方>

ビニールプールに付属の空気入れを使って空気を入れます。この際、2段空気層の内、下の空気層のみに7割～8割程度(プール中心部に多少たるみができる程度)、空気を入れてください(上の空気層には空気を入れないでください)。

プラスチック皿を上向きに置きます(プールの中に人が立つスペース用)。

ビニールプールを の皿の上ののせます(プール中心部が皿の形に盛り上がった状態にします)。

プールの上に、透明なビニールシートを凹凸に添ってのせます。

パワフルシャボン玉液をビニールプールに注ぎます。巨大リングが十分に浸る深さになるまで液を注いでください(最低10リットル程度)。

この時、中央の皿のくぼみの中に、シャボン液を入れないでください。

巨大リングをビニールプールに入れます。

ビニールプール中心の皿の中に人が立ちます。シャボン液に土などが入らないように、靴の底をきれいに拭いておくか、あらかじめ洗った長靴等に履き替えましょう。

(立ち方は右写真を参考にしてください)



巨大リングをビニールプールの両側から2人でゆっくりと持ち上げ、シャボン玉を作ります(シャボン液の中でリングをかるくゆすってあげると、シャボンまくが長持ちします)。



遊び終わった後、残った液は付属のジョーゴ、カップを使って容器に戻します。

## <シャボン液の必要量の目安と注意事項>

1回に最低10リットル程度は必要です。遊び終わった後に残った液は、再利用できません(注)。

10リットルの液量で、おおよそ30回程度のシャボン玉づくりが可能です。

(注)残った液を保存する場合、ほこりなどが混入してしまうと次回使用する際にシャボン玉ができにくい場合がございます。残った液は、未使用の液と混ぜないでください。一度遊んだ液を再度使用する場合は、シャボン玉ができることを確認した上で、新しい液を少量ずつ補充してご使用ください。